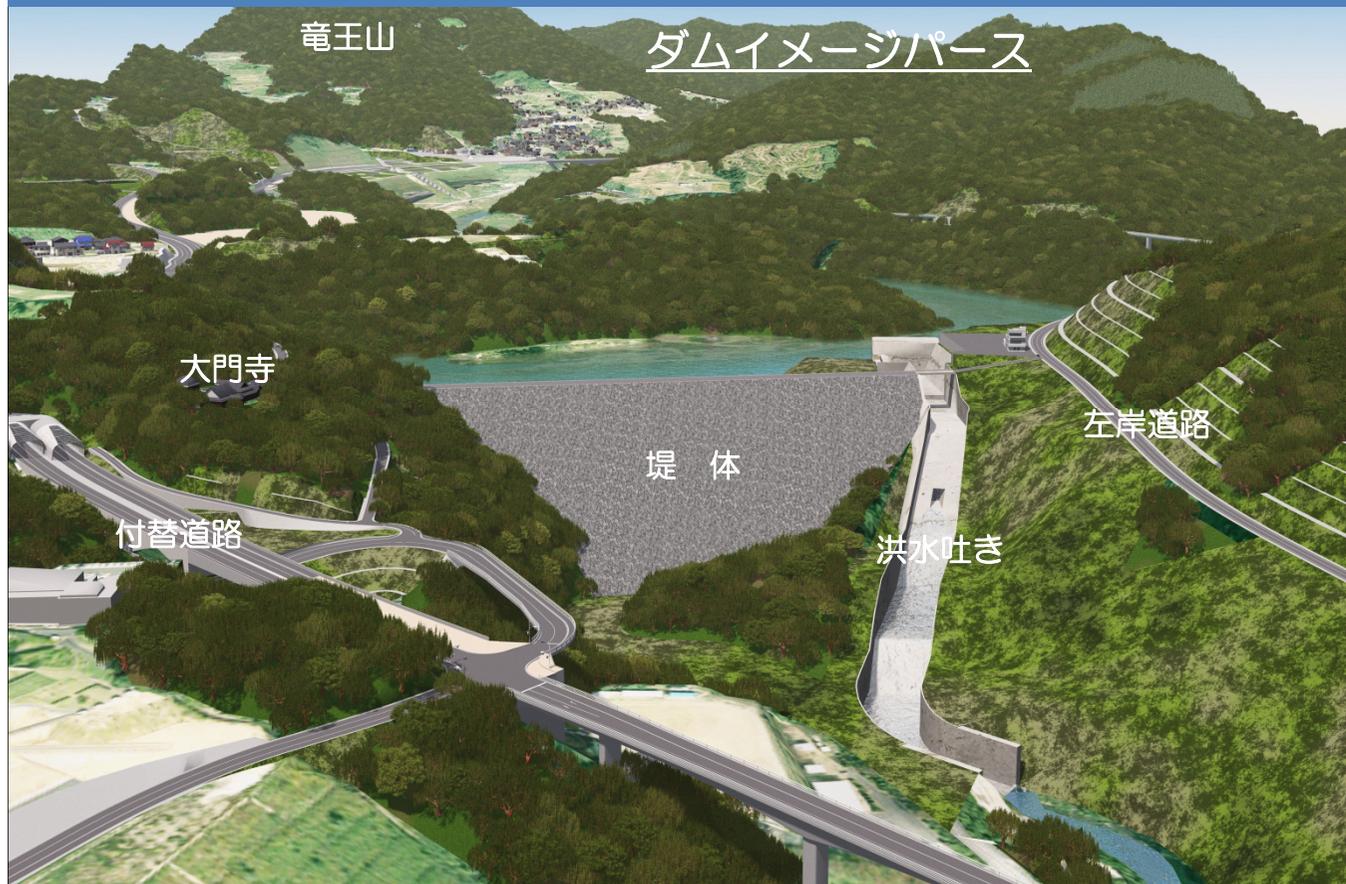


安威川ダム周辺の利活用について

大阪府

安威川ダム建設事業について



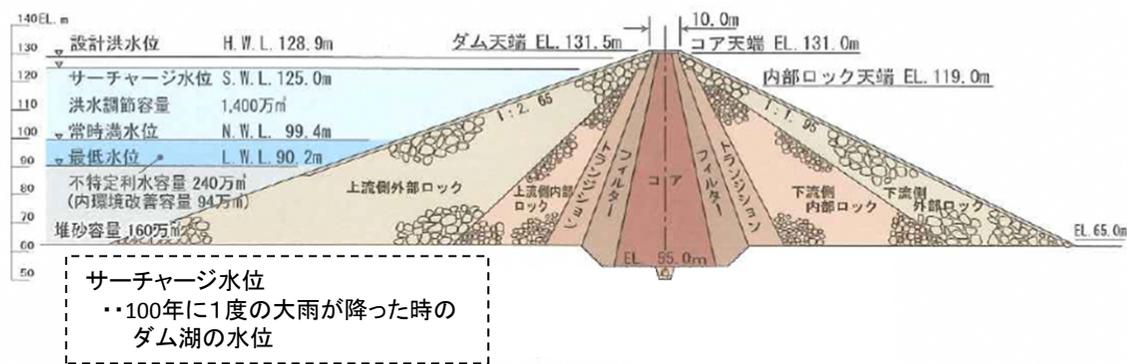
ダム事業の主な経緯

- 昭和42年 北摂豪雨を契機にダム構想立案
- 平成5年 付替道路工事着手
- 平成19年 水没家屋等の代替地への移転完了
- 平成21年 水需要の見直しによりダムから利水撤退
- 平成22年 付替道路開通
- 平成24年 転流工着手
- 平成26年 本体工事発注
- 平成33年度 ダム堤体完成 (予定)

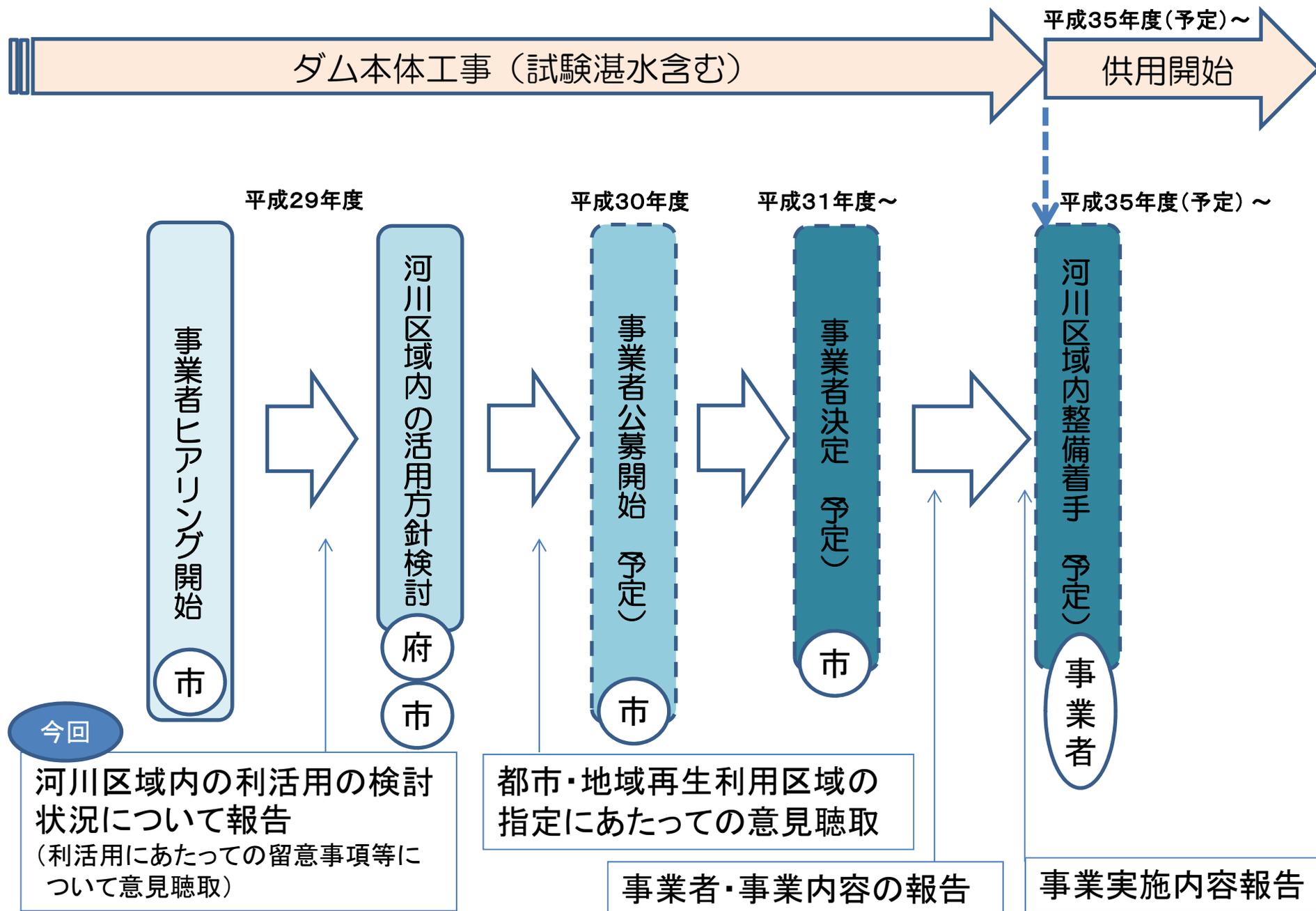
ダム堤体について

- 型式 中央コア型ロックフィルダム
- 堤高 76.5m
- 堤頂長 337.5m
- 堤体堰 約222万^m³
- 総貯水容量 1,800万^m³

安威川ダム標準断面図



安威川ダム周辺の利活用に向けた検討スケジュールについて



安威川ダム周辺整備の背景と役割

背景

- ・ 北部地域の大部分が山間部と農地
- ・ 人口減少が著しい
- ・ 新名神高速道路が開通
(茨木千提寺 I C から 3 km 程度)
- ・ 市街地から近い
(J R 茨木駅から直線距離で 6 km)

- 魅力ある施設が点在
- 面的な拠点整備はまだなされていない。

【水源地域整備計画】

スポーツ又はレクリエーションの用に供する施設の整備をダム湖周辺で検討。

安威川ダム周辺整備の役割

スポーツ・レクリエーション、憩いと癒しなど、『北部地域におけるハブ拠点』としてのネットワーク機能
『北部地域の魅力向上や活性化の起爆剂的な役割を担うものとする』ことを期待



見山の郷



キリシタン遺物史料館



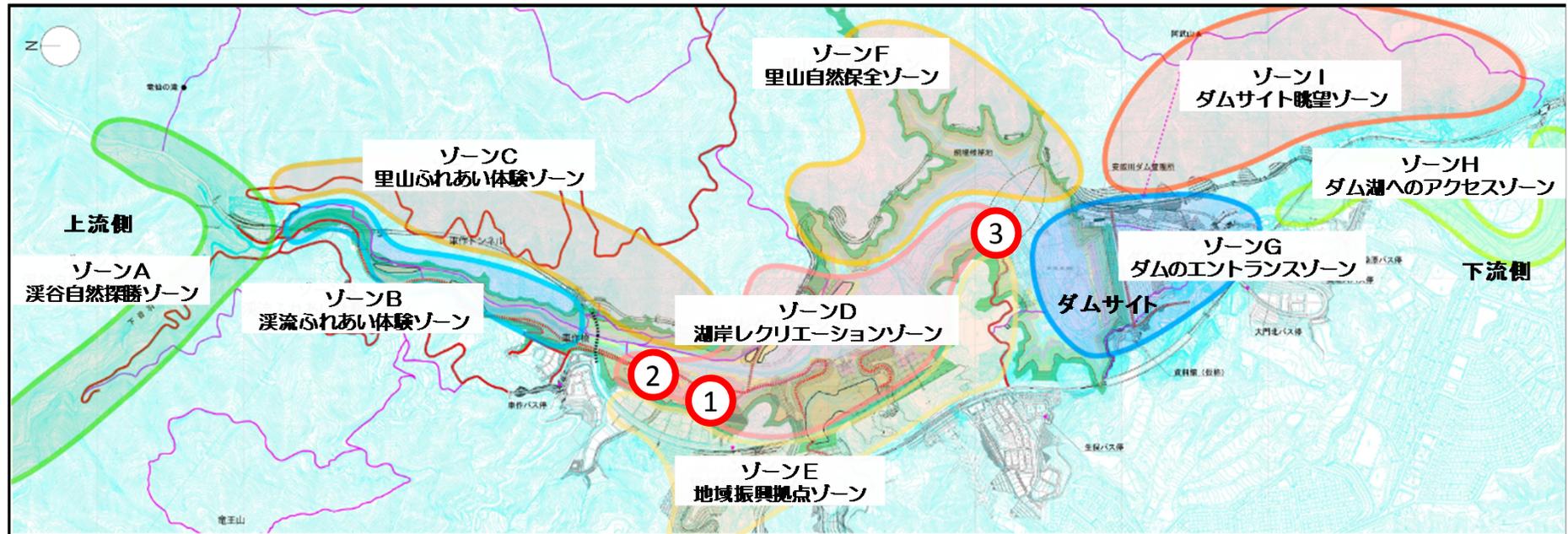
大岩いも掘り園



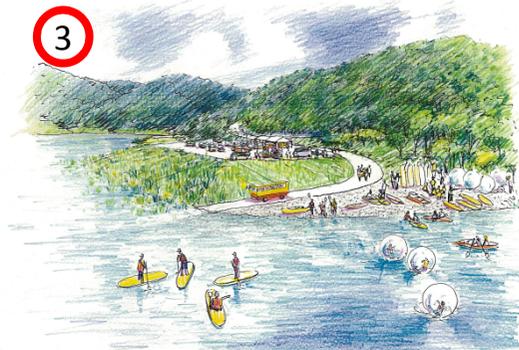
安威川ダム周辺整備基本方針ゾーニングとワークショップでのイメージ

～安威川ダム周辺整備基本方針（大阪府・茨木市 平成21年8月策定）より～

○ダム周辺を「A～I」の9つのゾーンに区分し、ゾーンごとに利活用の方針を示す



ワークショップ（平成27年度開催）で共有された安威川ダム周辺の主なイメージ

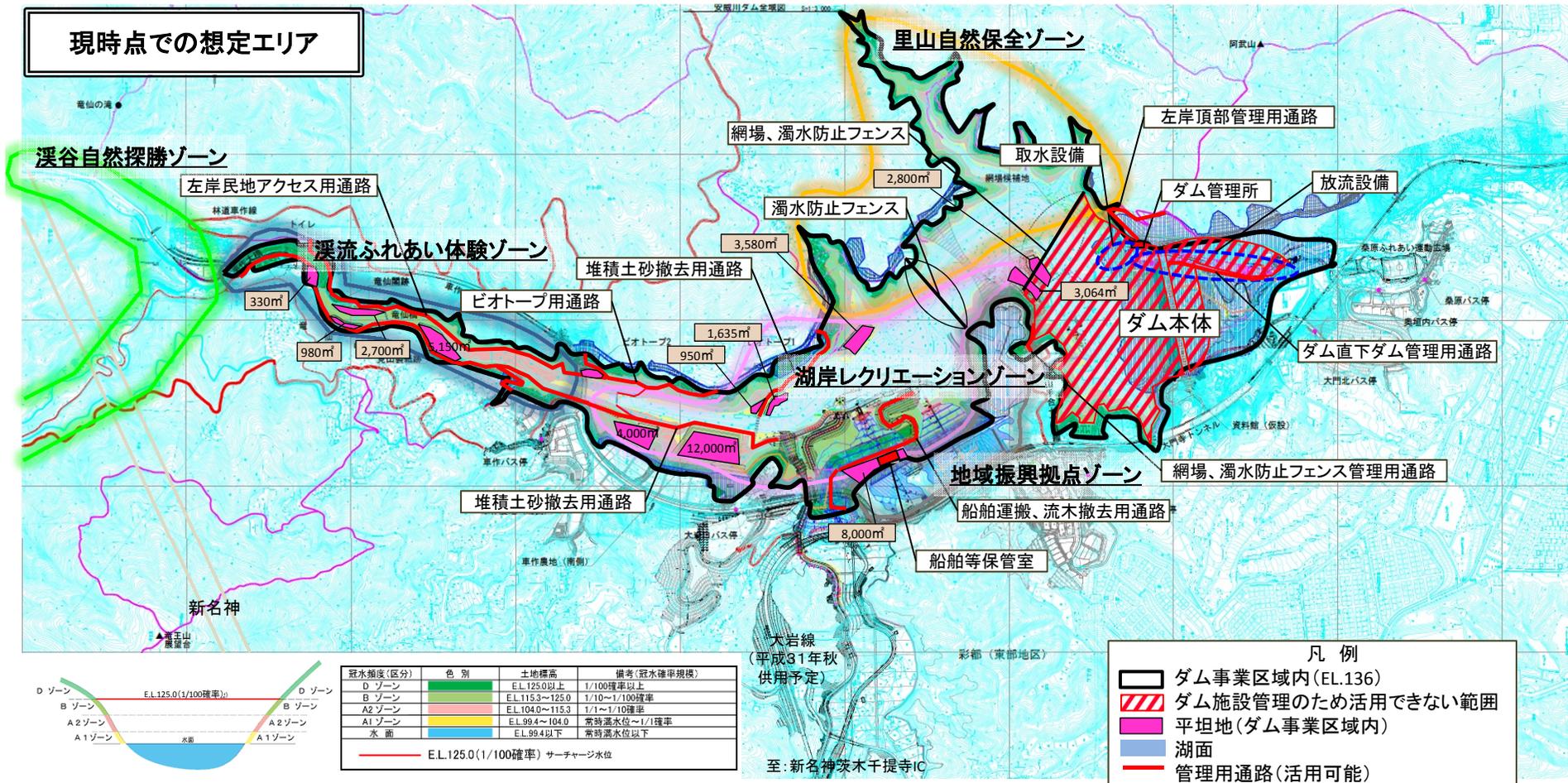


活用の可能性があるエリア

対象範囲：ダム事業区域内 110 (ha)

【湖面30ha、平坦地(常時冠水しない)12箇所 4ha】

但し、施設の管理上、支障となる範囲は除く



※現在施工中のダム建設工事にかかる掘削ボリューム等により
 平坦地の面積・高さは今後変更となる可能性がある。

活用の可能性があるエリア

① 車作代替農地前平場 南側 (ゾーンD 湖岸レクリエーションゾーン)

